

後期高齢者医療は廃止を！

なにかも値上げなのに
ゴミまで有料化なんて！

75歳以上のお年寄りを差別する後期高齢者医療制度など国民いじめの「構造改革」への怒りが沸騰。内閣支持率が20%を割り込み、自民・公明政権の屋台骨が大きく揺らいでいます。日本共産党は野党4党で一致して後期高齢者医療制度の廃止を求めて頑張っています。同時に、「ルールなき資本主義」から政治・経済の軸足を国民生活にかえるよう提案。解散・総選挙で国民の信を問えと主張しています。

激動する情勢の下で開催される6月議会では、後期高齢者医療制度廃止の声を流山市からも発信し、さらに貧困と格差を是正して、「住民の福祉の増進を図る」という地方自治体の役割を発揮させるために全力をつくします。

原油・穀物の高騰で、あらゆる生活必需品が値上がり、市民生活が脅かされる中、ごみ有料化を導入しようとする市政を厳しくチェックします。

会期 6月5日～6月23日 19日間
(議案10件、陳情5件・発議1件他)

6月 5日(木) 本会議 午後1時開議

10日(火)～12日(木)

一般質問 午前10時～

13日(金) 一般質問 午前10時～

一般質問終了後、各委員会に議案を付託

16日(月) 総務、教育福祉委員会

17日(火) 市民経済、都市建設委員会

23日(月) 本会議 午後1時開議

議案・請願・陳情・意見書など採択

一般質問

小田桐たかし議員 6月12日(木) 午前11時頃

1 市税の軽減策について

要介護者への障害者認定は、税の還付申請同様に、5年間さかのぼれるようにすべきだがどうか。

市税の納税猶予について、現在の活用状況と経済的理由を含めた柔軟な対応をすべきだがどうか。

2、新線沿線巨大開発について市長に問う。

セントラルパーク駅前の市有地活用について

新市街地、木地区の用途地域等の見直しについて

6車線幅員40メートルの都市計画道路3・1・1号線は縮小・見直すべきではないか。

3、子育て支援について

医療費助成を6年生まで広げるべきだがどうか。

保育手当の増額と年齢拡大を図るべきではないか。

4、中部地域のまちづくりについて

いぬい紳一郎議員 6月12日(木) 午後1時頃

1、市長の政治姿勢を問う
政府の社会保障費抑制政策が、医療・介護制度を崩壊の危機に追い込んでいると考えるがどうか。

2、高齢者の介護問題について

2009年4月からの介護保険制度の見直しについて
介護保障の拡充のため地方自治体としてどのような役割を果たすべきと考えているのか。

3、自治体職場における労働問題について

臨時や嘱託など非正規雇用の拡大について
職員適正化計画の見直しについて

4、道路行政について

必要性に疑問のある大型道路計画は見直しを図るべきではないか。
都市軸道路計画(三輪野山区間)において、住民との話し合いをどのようにすすめていくのか。

徳増きよ子議員 6月12日(木) 午後2時頃

1、ごみ有料化について市長に問う。
あらゆるものの負担増の中、なぜ今有料化なのか。
市民の声をもっと聞くべきではないか。

2、ぐりんバスについて市長に問う。
試行運転をどう評価し、どう改善するのか。
市役所や文化会館への直通バス運行について
デマンドバスなど導入すべきではないか。

3、生活保護行政について
憲法25条にもとづいた生活保護制度のあり方について市長に問う。

4、通院交通費(移送費)の全額支給、および保護費決定通知書、変更通知書の改善について

高野とも議員 6月12日(木) 午後3時頃

1、市長の政治姿勢について
後期高齢者医療制度を廃止し、安心できる医療制度へ国民的議論を求めるべきではないか。

2、ごみ行政について市長に問う。
大型施設に頼ってきたこれまでの市のごみ行政を総括すべきではないか。
ごみ有料化は真の「循環型社会」の形成にふさわしいのか。

3、学校給食について
給食費の値上げの懸念と給食費未納問題について
調理業務の民間委託で本当に教育としての給食に責任が持てるのか。

4、北部地域のまちづくりについて
運河駅東口開設と周辺の整備について
西深井幹線道路の農協前の信号設置について

ぜひ傍聴にお出かけください

- 市議会議員 高野とも (7155-1683)
- 市議会議員 いぬい紳一郎 (7159-2773)
- 市議会議員 小田桐たかし (7154-0878)
- 市議会議員 徳増きよ子 (7148-6871)